

▶和やかな雰囲気で行われたグループワーク



6/26
(水)

CHA³プログラム

岸本町民体育館で6月26日（水）、鳥取県教育委員会・伯耆町教育委員会が共催のもと、CHA³プログラムが行われました。地域の人や大学生と出会う機会（Chance）であり、多様な価値観と出会うことで自分を変え（Change）少し先の目標を持ち、挑戦（Challenge）する態度を養うことを目的とした、中学生のためのトークプログラムです。

岸本中学校3年生64人、日本海情報ビジネス専門学校生33名、地域の大人46名が参加し、「自分の町のいいところ」などのトークテーマで話し合いました。参加した中学生は「これからは地域の人たちや同級生とのつながりを大切にしたい」と話し、地域の人々は「今の気持ちを誇りに思い、忘れずに大人になってほしい」と話しました。

▶協定を結んだ森安町長と真柳社長



5/31
(金)

メルキュール鳥取大山リゾート&スパと包括連携協定締結

伯耆町とリゾートホテル「メルキュール鳥取大山リゾート&スパ」が5月31日（金）、観光振興と地域活性化を目的とした包括連携協定を結びました。

具体的な内容として、絶景や文化など伯耆町の魅力が体験できる観光コンテンツの開発や、環境に配慮した観光事業の推進などが挙げられました。真柳宏二社長は「地元の実験や交流ができるプログラムを考えて、ゆっくり時間を過ごしていただけるようなホテルを目指したい。」と話しました。

▶伯耆町消防団第5分団



▶的に向かって放水する団員



7/7
(日)

鳥取県消防ポンプ操法大会

鳥取県消防学校屋外訓練場で7月7日（日）、県内各地の消防団員がポンプ操法の正確さを競う鳥取県消防ポンプ操法大会が行われ、伯耆町から伯耆町消防団第5分団が小型ポンプ操法の部に出場しました。

消防ポンプ操法大会は、消防団の技術の向上および士気の高揚を図ることを目的に毎年開催されています。消防団員は、小型ポンプからホースを延長して放水。火に見立てた的を倒すまでの動作の正確さや速さを競いました。

伯耆町消防団第5分団は、5人中2人が初めての出場でしたが、団員同士の強い連携と一つ一つの操作の丁寧さ・素早さのある操法を披露し、練習以上の成果を発揮しました。

